

先週の回答



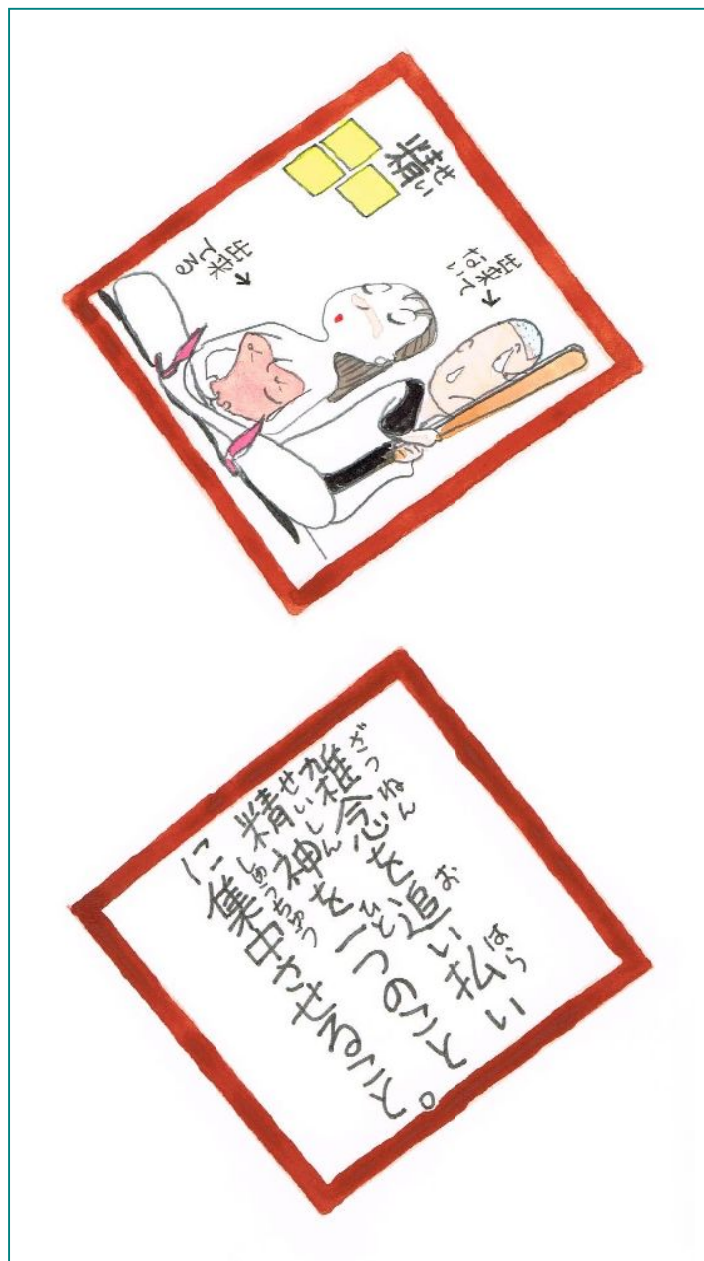
「この意味を説明してみる、神田」
 「上野です。敵に塩を送った話です」
 「正気か？」
 「おかげさまで」
 「塩がどうしたって？」
 「上杉謙信だか武田信玄だか、どっちだったか忘れましたが、相手方が塩が無くて困っていたので、武士は相身互い思って塩を送ったのです」
 「それが」
 「塩が不足して不利だったから不足不利だったんです」
 「字をよく見ろ。不足じゃない不即だ。不利じゃなく不離だ」
 「蒲田、わかるか？」

「大森です。自信はありませんが、『不即』はくつつかず。『不離』は離れずの意味ではないでしょうか、自信はありませんが」
 「そのとおりだ。自信を持って蒲田」
 「大森です。自信がつかました」
 「蒲田が言ったとおり、不即不離とは、くつつかず、離れずという意味だが、もう少し具体的に述べよ、北千住」
 「南千住です。つまり、お互いに適当な距離を保って、それぞれ独自性を生かしながら共存しているさまのことです。つかず離れずの言い関係にあることです」
 「そのとおりだ北千住」
 「先生、質問があります」
 「何だ、新大久保」
 「高田馬場です。ストーカーもそうなん

でしようか？」
 「……」
 「つかず離れずつきまとうストーカーです。あれも不即不離のいい関係といえるのでしょうか？」
 「……何でそんなことを聞くんだ。えーと新大久保」
 「高田馬場です。先生はミドリ先生につきまといっているつきましましたが、ミドリ先生は大迷惑しているからです。はっきり言って体育の加山先生には勝てそうにもないと思います」
 「何で断定的にそんなことが言えるんだ！」
 「加山先生に比べて先生には、男の魅力が不足だから不利だと思えます」
 「それは言える」と全員うなずいた。



今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。